

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2020年 2月	サムスンベンチャー投資、SKハイニックス	3,100万ドル	フォトレジストの安定的確保のため、フォトレジスト企業のインプリアに追加出資。
	慶南ナビエン	920億ウォン	ボイラー大手の同社は、バージニア州に物流倉庫を建設後、2024年までに工場を建設すると発表。物流費削減、ブランド認知度向上を通じ、米国市場開拓を目指す。
3月	LGハウシス	5,000万ドル	ジョージア州のエンジニアドストーン（人造大理石）工場の生産ライン増設を完了。米国建築市場での販売拡大を目指す。
	現代自動車グループ	20億ドル	現代自動車・起亜自動車・現代モビスのグループ3社と米国・自動車部品大手アプティブが出資した自動運転技術開発の合弁会社が発足。所在地はボストン、出資比率は韓国側・米国側とも50%。レベル4～5の自動運転プラットフォームの商用化を目指す。
4月	ネクストサイエンス	61億ウォン	海外有望バイオ企業投資による企業価値引き上げを目的に、バイオ医薬品開発のイミュノミック・セラピューティクスに出資。
	SKイノベーション	15億ドル（1兆8,000億ウォン）	ジョージア州で建設中の車載電池第1工場に追加し、第2工場を建設することを決定。2023年量産開始を目指す。第1工場、第2工場を合わせた投資額は3兆ウォン。世界最大の自動車市場の米国でトップクラスの生産規模を確保する狙い。
	サムスン電子、SKハイニックス	—	ビッグデータ企業のビッグストリームに米国投資会社などとともに出資。両社ともビッグストリームとの協力で高性能半導体開発を進める考え。
5月	LG化学	2兆7,000億ウォン（合弁事業全体）	GMとの折半出資により、車載電池生産の合弁会社アルティアムセルズが発足。オハイオ州で工場建設を開始。LG化学にとって2番目の北米電池生産拠点。LG化学は顧客先確保、GMは電池セルの安定供給先確保が狙い。
	BDI	—	発電プラント設備開発を行う同社は事業多角化の一環でバイオ企業のエリソンを買収。
6月	バンオーシャン	—	海運会社の同社の米国現地法人は、穀物ターミナル運営会社のEGTの株式36.25%を伊藤忠インターナショナルから取得することを決定。米国北西部の穀物流通拠点確保が目的。
	ポリオン製薬	240億ウォン	投資機会の確保、事業領域の拡大可能性を念頭にヘルスケア投資ファンド「Hayan1」に出資。
7月	現代モビス	2,000万ドル	シリコンバレーの要素技術専門ファンドの「ACVCパートナーズ」「MOTUSベンチャーズ」への出資を決定。未来の自動車のコア技術などを獲得する狙い。
	ジヌス	510億ウォン	マットレス製造の同社はジョージア州にマットレス工場と物流センターを建設することを決定、米国の流通企業から土地、建物を取得。コロナ後急増しているオンライン需要に迅速に対応していく。
	韓国産業銀行	—	シリコンバレーにベンチャーキャピタル子会社を設立することを決定。韓国のスタートアップ企業の米国進出を支援する狙い。
8月	ハンファQセルズ	—	商業用太陽光発電設備・エネルギー貯蔵システム（ESS）制御システム開発などを行うジェリを買収する契約を締結。買収を通じ、収益性の高い分散型エネルギー・ソリューション市場への進出を目指す。
	ティウムバイオ	—	世界最大規模のバイオクラスターを形成するボストンで抗体新薬のR&D（研究開発）を行う子会社を設立。二重抗体技術に基盤を置いた繊維症治療薬や免疫抗がん剤などの開発を行う。
	SKハイニックス	600万ドル（同社以外を含む）	サウジアラムコなどと共に、半導体設計会社のサイファイブに出資。半導体設計分野での長期的なシナジー効果発揮に期待。
	GSグループ	1,900億ウォン	将来の成長事業の発掘のため、シリコンバレーにベンチャーキャピタルを設立。
	現代自動車	—	垂直離着陸が可能個人用飛行機（PAV、いわゆる「空飛ぶクルマ」）のR&D（研究開発）拠点として、デラウェア州に現地法人を設立。アーバンエアモビリティ（UAM）事業を推進する。
9月	韓国水力原子力、ハナ金融投資、韓国投資証券など	—	長期的な投資収益獲得を目指し、イリノイ州の陸上風力発電所に出資。韓国水力原子力は今後、米国に現地法人を設立し、再生可能エネルギー事業の投資を拡大する方針。
	SKハイニックス	5,500万ドル	シリコンバレーに人工知能（AI）の研究を行う現地法人を設立。AIを活用した半導体製造の工程分析、生産性向上につなげる考え。
	オプティファーム	10億ウォン	T細胞治療薬開発のテライミュンに出資。今後、両社で共同研究を推進する。
	コリアンリー再保険	—	2021年9月営業開始を目標に米国で仲介法人を設立することを決定。
10月	M2N	340万ドル	金属製品製造の同社はグリーンファイヤーバイオに追加出資、出資比率は18.69%に上昇（さらに、2021年4月に1,642万ドルを追加出資）。新規参入したバイオ事業強化の一環。
	SKハイニックス	90億ドル（大連工場を含む）	インテルのNAND型フラッシュメモリー、ストレージ事業を買収することを決定。買収対象には中国・大連のNAND型フラッシュメモリー工場も含む。買収額は韓国企業として過去最高水準。世界シェア5位にとどまるNAND型フラッシュメモリーの競争力強化を狙う。
	サムスンバイオロジクス	—	サンフランシスコに医薬品受託開発（CDO）R&D（研究開発）センターを開所。欧米などの製薬・バイオ企業を顧客とするCDO事業を本格化する。
11月	イーマート、GSグループ	—	農業技術スタートアップ企業のベンソン・ヒル・バイオシステムズにファンドを通じて出資。
	KPS	—	新薬開発の本格化のためにデラウェア州に現地法人を設立することを決定。
12月	現代自動車グループ	約1兆ウォン	ロボット開発のボストン・ダイナミクスの株式80%をソフトバンクグループから取得することで合意。内訳は現代自動車30%、現代モビス20%、鄭義宣会長20%、現代グロービス10%。現代自動車グループではロボティクスを今後の成長事業とみており、将来のモビリティ市場での先行を目指す。
	サムスン電子	—	テキサス州オースティン工場の隣接地を取得。

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2021年 1月	KCC	4,000億ウォン	シリコン事業を行う米国現地法人に追加出資、出資比率は60.4%に。シリコン事業の垂直系列化によるシナジー効果発揮と現地法人に対する支配力強化を狙う。
	LG電子	8,000万ドル	シリコンバレーのテレビ広告・コンテンツデータ分析スタートアップ企業のアルフォンソの過半数以上の株式を獲得。テレビ事業の事業領域拡大を狙う。
	SKグループ	1兆6,000億ウォン	同グループのSKとSK E&Sは8,000億ウォンずつ投じ、水素エネルギー事業を行うプラグパワーの株式9.9%を取得、最大株主に。今後、シナジー効果を活用し、中国・ベトナムなどアジアの水素市場進出に注力する狙い。
	CJ第一製糖		サウスダコタ州に工場用地を取得。米国市場で販売が拡大しているマンドゥ(韓国式餃子)の生産能力増強に備える。
	LG電子	—	スイスのソフトウェア開発ルクソフトと合併で車載インフォテインメント(情報娯楽)事業の現地法人をカリフォルニア州に設立。自動車電装品事業の競争力強化を狙う。
	ハンファエナジー	—	フランスのトタルと折半出資で米国に合併会社を設立し、太陽光発電事業を進めると発表。6つの州の12カ所で大規模太陽光発電所を建設していく。
	サムスン電子	170億ドル	半導体ファウンドリ(受託生産)工場建設の検討を進める。進出地は未定。
2月	ハンコックタイヤ	1,000億ウォン以上	2023年下半年ないし2024年上半年の完工を目標にテネシー工場を拡張し、年間生産能力を現行の550万本から1,100万本に倍増させる。
	ネットマーブル	—	米国現地法人を通じ、ゲーム開発のカンファクトリーを買収。北米事業強化を目指す。
	SKネットワークス	2,500万ドル	小売店自動決済ソリューション企業のスタンダードコグニションに出資。
	チャバイオテック	—	米国現地法人がテキサス州で細胞遺伝子治療剤受託生産(CDMO)のための工場を起工。
3月	LG電子	—	LGグループがシリコンバレーに設立したベンチャーキャピタルを通じ、自動車データプラットフォームのスタートアップ企業のセレブラムXに出資。
	LGエナジーソリューション	5兆ウォン以上	GMとの合併会社の工場とは別に、2025年までに米国内に2つの車載電池工場を建設し、70GWh以上の生産能力を追加確保する計画を発表。米国政府のグリーン・ニューディール政策を受け決定。合わせて、GMとの合併会社が車載電池第2工場の建設を進めることを発表。
	東亜ST	—	製薬会社ニューロボ・ファーマシューティカルズに追加出資、出資比率を13%から33%に引き上げ。研究開発(R&D)拠点としての活用を狙う。
	ハンファ総合化学	—	イタリアのガスタービン会社アンサルドエネルギーの米国現地法人を買収。同社のガスタービン技術、水素混焼技術の獲得が狙い。
4月	HYBE(ハイブ)	10億5,000万ドル	総合メディアグループのイサカ・ホールディングスの株式100%を取得。韓国アイドルを世界市場に送り出す狙い。
	カカオエンターテインメント	5,000億ウォン	ウェブ小説プラットフォーム運営のラディッシュを買収する契約を締結。北米市場での事業強化の足掛かりとする狙い。
	現代トランス	900万ドル	ジョージア州のシート工場を増設。米国市場での現代自動車・起亜の販売が拡大していることに対応。
	LG電子	2,050万ドル	テネシー州の洗濯機工場を増設を決定。米国市場での同社製洗濯機の販売が好調なため。
	HLBグループ	1,500万ドル	CAR-T細胞治療薬開発のベリズモ・セラピューティックの株式30%を取得し、筆頭株主に。CAR-T細胞治療薬剤の臨床試験を急ぐ。
	ネイバー	2,040億ウォン	ウェブトゥーン・コンテンツサービスを行う米国現地法人に追加出資。米国市場での競争力強化を目指す。
5月	斗山ポプキャット	7,000万ドル	ノースカロライナ州の工場を増設を決定。2022年5月完成を目指す。農業・造園用の小型装置を生産予定。なお、2,600万ドルを投じたミネソタ州の工場増設は2104年4月に完了。
	現代自動車グループ	74億ドル	米国で2025年までに74億ドルを投資すると発表。分野は電気自動車生産、水素インフラ、アーバンエアモビリティ(UAM)、ロボティクス、自動運転など。特に、電気自動車の現地生産については、バイデン政権の電気自動車普及政策に対応する目的。
	SKイノベーション	6兆ウォン(米韓両社で折半)	フォードと車載電池生産合併会社の設立で合意。
	徳洋産業	1,000万ドル	ジョージア州に電池モジュール工場を建設することを決定。製品はSKイノベーションの米国拠点に納品予定。
	SKハイニクス	10億ドル以上	AI(人工知能)、NANDソリューションなど、新成長分野の大規模R&D(研究開発)センター設立を決定。
	サムスン電子	1,800万ドル	同社のベンチャー投資子会社・サムスンネクストが電気機器保証サービスを行うスタートアップ企業のアプシーに出資。
	チョンボ産業	118億ウォン	米国現地法人に追加出資。現地法人経由で、免疫抗がん剤などを開発する米国バイオ企業に出資する目的。
	Qエクスプレス	—	オレゴン州ポートランドに物流センターを開設。米国での物流サービスを強化。
	ハンファシステム	3,000万ドル	衛星アンテナメーカーのカイメタの発行株式の9.1%を取得。アーバンエアモビリティ(UAM)事業強化の一環。
6月	OSウィンド	1億5,000万ドル	デンマークのヴェスタスの米国風力発電タワー工場を買収。米国市場での売上高拡大を目指す。
	SK	—	水素製造のスタートアップ企業のモノリスに出資。SKグループの水素事業強化につなげる。
	サムスンSDI	—	米国での車載電池工場建設を検討すると発表。実現すれば韓国の車載電池3社すべてが米国に生産拠点を有することになる。

注1:「年・月」は企業の発表日または報道日を基準としている。「概要」は原則的に報道時の内容に基づく。

注2:「—」は不明を示す。

注3:新規現地法人の設立の他、既存現地法人の生産能力増強などを含む。

注4:企業名は発表当時の企業名とする。

資料:韓国の各メディア報道を基に作成